

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社アカウティングプロ	本社所在地	神奈川県
業種	学術研究、専門・技術サービス業	総従業員数	7
事業概要	公認会計士による中小企業向けのアカウティング（会計）コンサルティングサービス。		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則
テレワーク担当部署	経営企画部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	4
平均実施日数	月16回以上（概ね週4回以上）

テレワークの導入・拡大の経緯

従来訪問等を中心としていたコンサルティング業務を、オンラインミーティングやクラウドサービスをベースとした方法に変更。当変更に伴い本社以外の場所の人員でも勤務可能になったことから、沖縄県宮古島で求人を実施（2017年5月）。1名の雇用を経て、更なる業務のオンライン化を進めて、さらに1名を雇用。入居していたシェアオフィスの運営受託を受け（2019年6月）、さらに1名を採用。沖縄県宮古島をサテライトオフィスとして、働く場所にしばられずに仕事をしている。また、弊社経営企画の知人（1児の母親）が子育てをしながら業務ができるように、完全在宅で業務補助をお願いしている。本社採用ではなく、サテライト・在宅での雇用が多くなってきたことに伴い、グループウェア・オンラインツールなどの活用を進めている。

テレワークの概要・特徴

【テレワーク制度の概要や特徴】

- ・宮古島サテライトオフィスと完全在宅での業務実施。
- ・ミーティングなどは全てオンラインで実施。また、社外の方とのミーティングも原則はオンラインで実施をお願いしている。

【テレワークの活用、定着、効果的な運用に向けた工夫】

- ・社内の情報（以前は本社のローカルネットワークの共有フォルダにあったもの）をすべてクラウドに。
- ・テレワークの活用によって当たり前ではあるが、人が分散してしまい、社内行事をやるのが難しくなった。そこで、一体感や文化を形つくるためにも、基本的には業務中は全員がZOOMでつながりながら仕事をしている。
- ・チャットのみでのコミュニケーションだとどうしても、真意が伝わらず、また言語化できない内容が伝わらない。チャットは便利ではあるが、なるべくZOOM上で話しかけるようにしている。

【長時間労働の予防や参考】

- ・テレワークはどうしても孤独になりがち。全社的な一体感を持たないとモチベーションも労働時間も長くなりがち。いかにつながりを確保するかが重要。

テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

【テレワークを導入したことによる経営にもたらした効果やエピソード】

- ・付加価値業務への専念。移動が無くなり、業務に専念できた（基本的にはオンラインとしているため、月に2回/人程度しか移動しなくなった）。
- ・また、広い本社が不要となり固定費の削減約150万/年が可能となった。
- ・横浜の事務所ではあるが、日本全国のお客様と取引している。

【テレワークの導入にあたり、ICTの利活用、地方への移住や地方活性化等の取組や成果】

- ・沖縄県宮古島のサテライトオフィスでは、サテライトオフィス開設を機に、シェアオフィスの運営を受託。地域活性化のために様々なイベントを実施している。
- ・セミナーを実施しているのを、ZOOMにてオンライン配信を開始。以前は東京と大阪会場のみだったものが、日本全国に向けてオンライン配信をすることができ、顧客満足向上につながった。

【その他テレワークの導入によって創出された社会的効果の事例】

- ・子育て中の女性など、出勤が難しい方の積極的な登用が可能となった。